

図 14

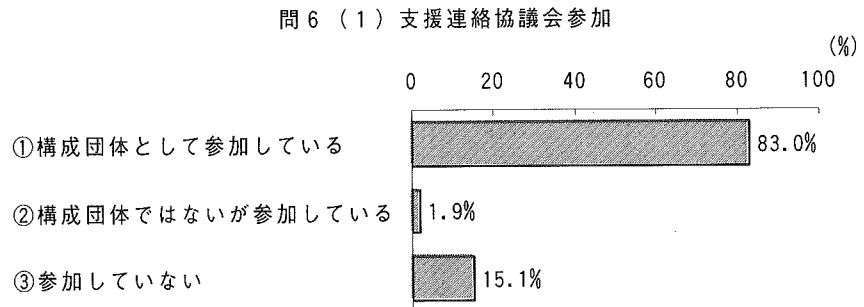


図 15

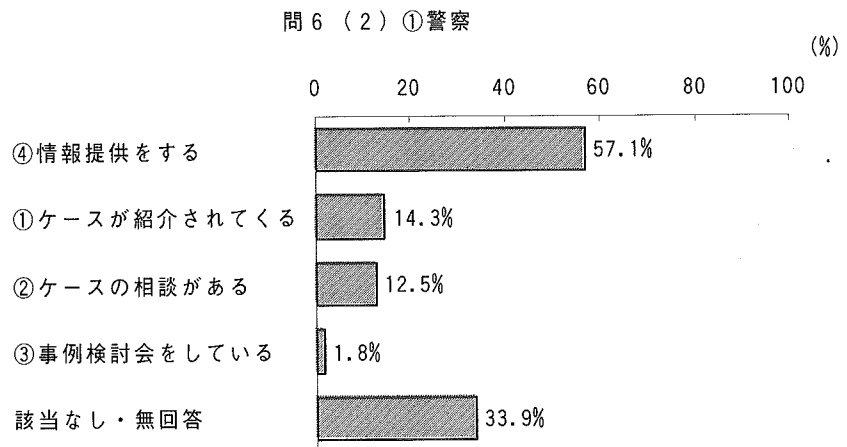


図 16

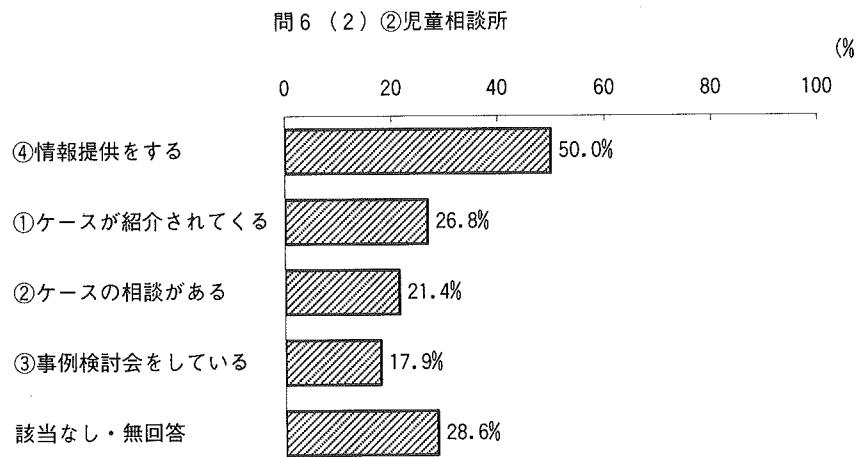


図 17

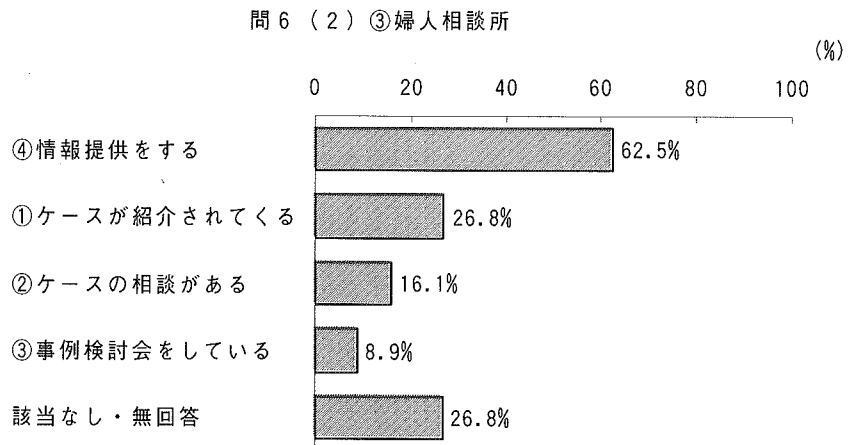


図 18

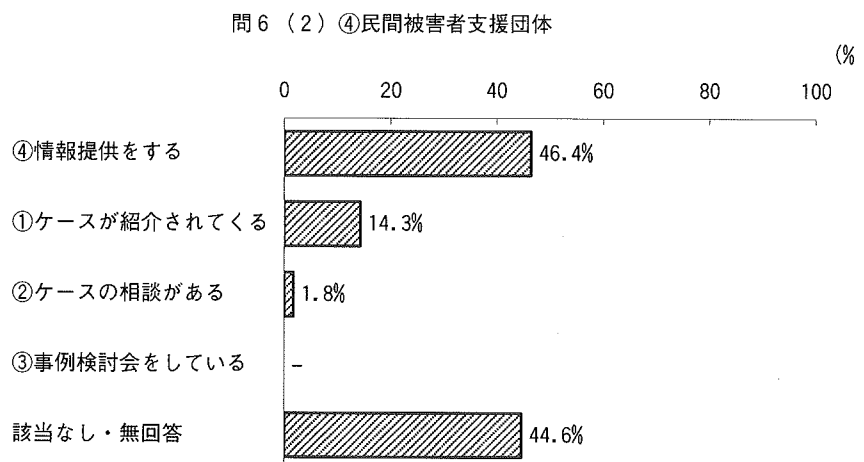


図 19

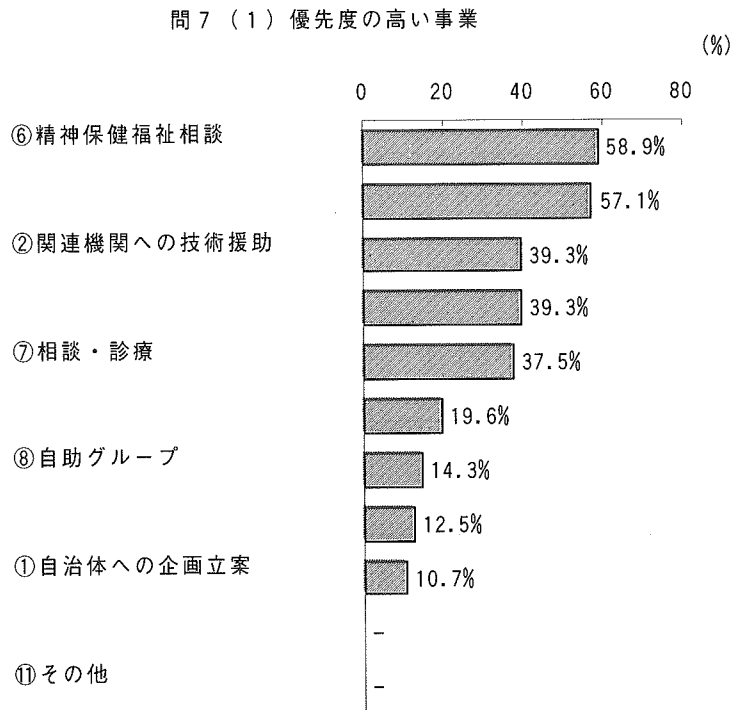


図 20

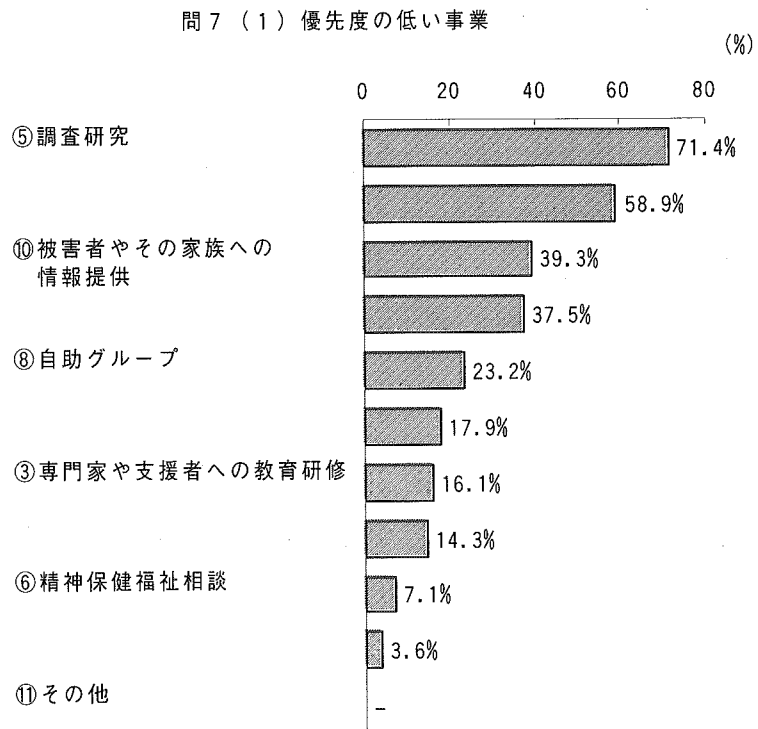


図 21

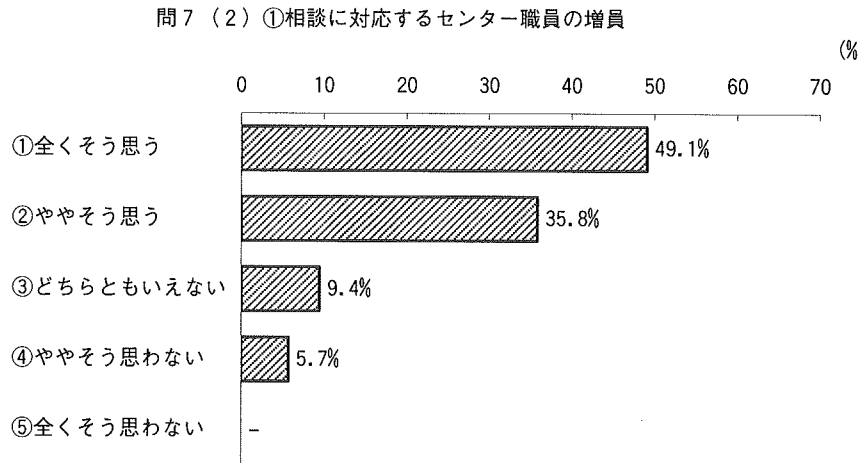


図 22

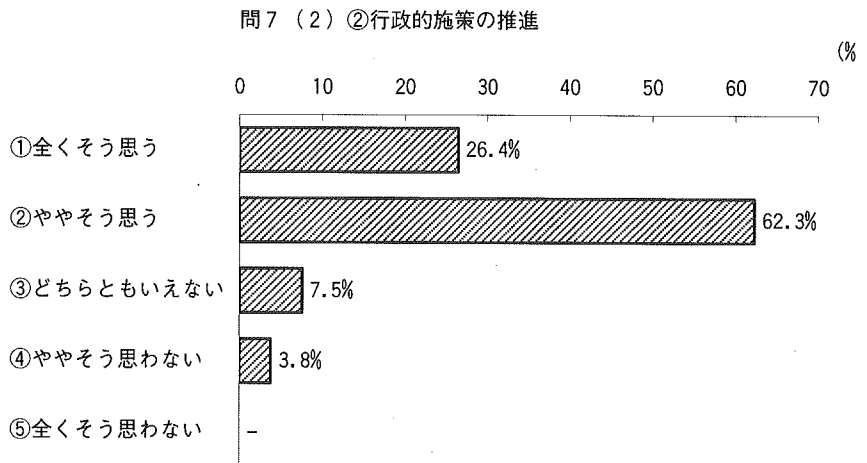


図 23

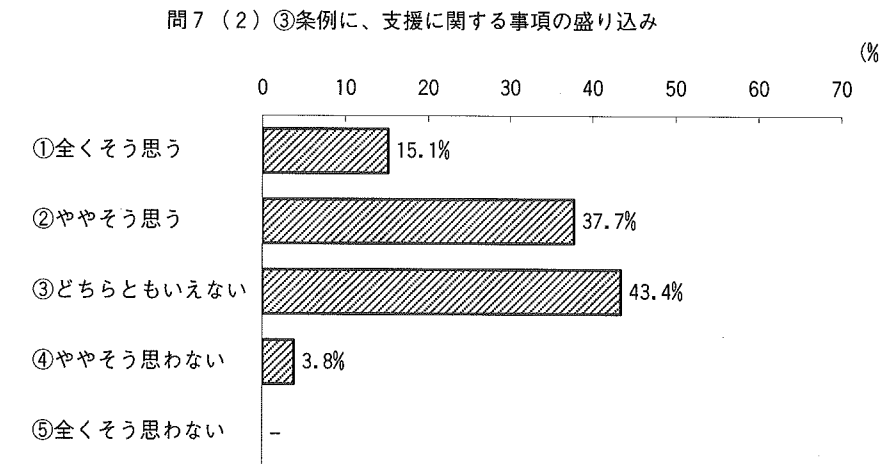


図 24

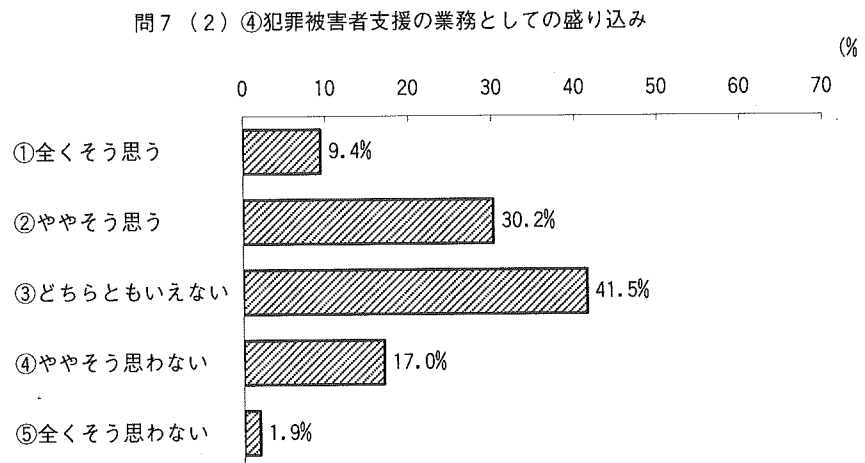


図 25

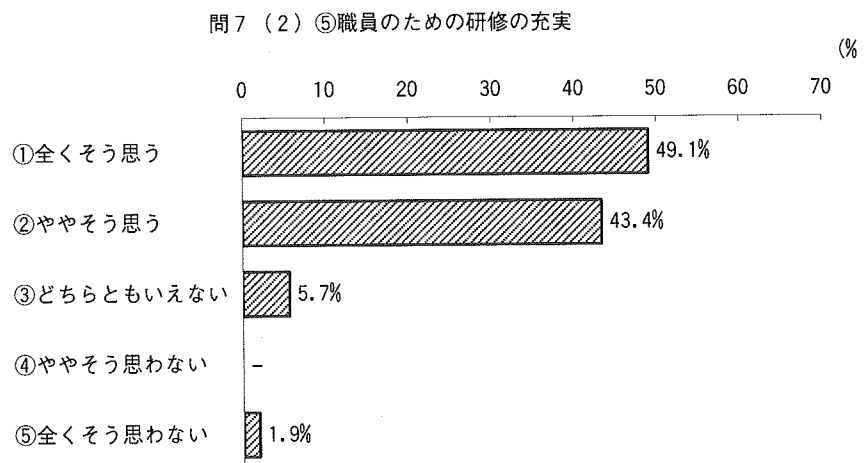


図 26

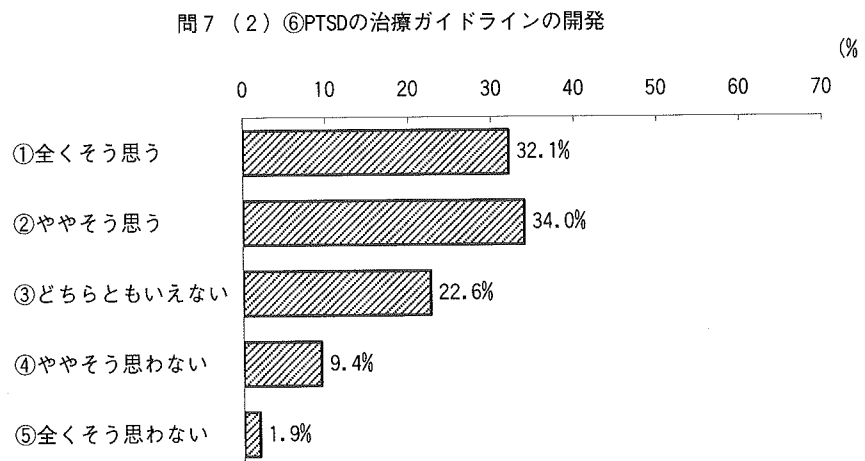


図 27

問 7 (2) ⑦PTSDの診断名での治療薬医療保険の適応

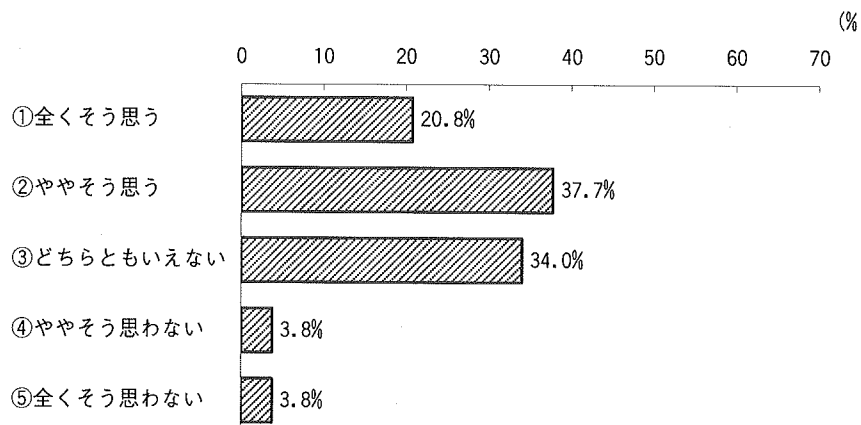


図 28

問 7 (2) ⑧支援や治療のガイドラインの開発

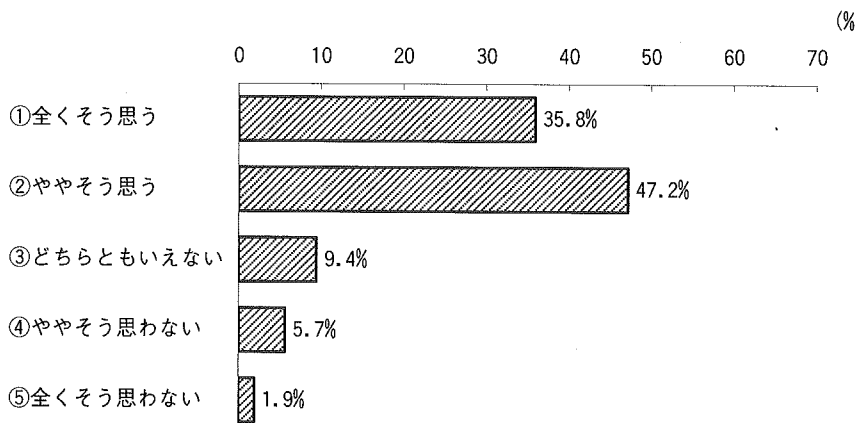


図 29

問 7 (2) ⑨犯罪被害者・遺族の医療費の負担軽減

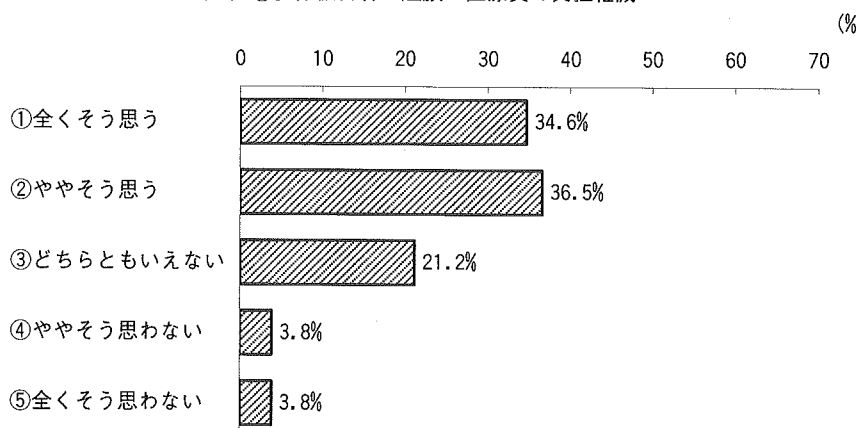


図 30

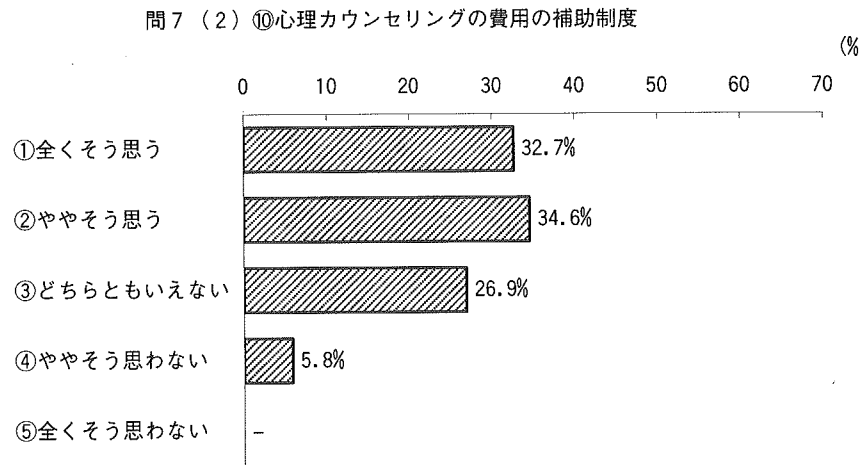


図 31

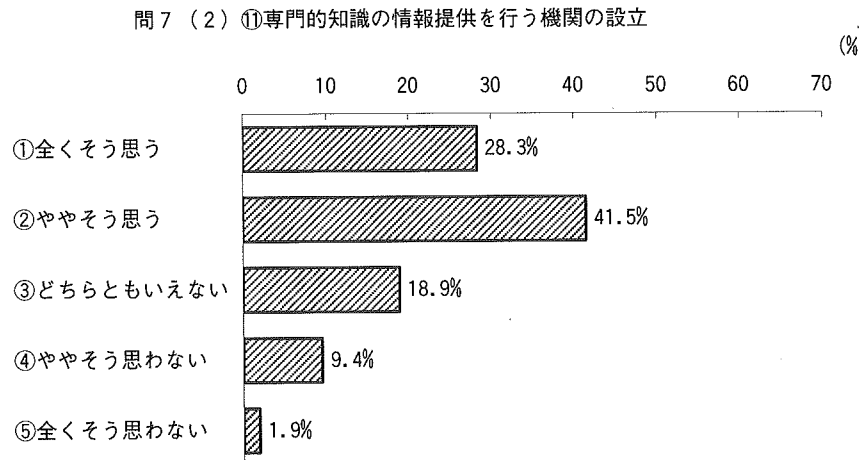


図 32

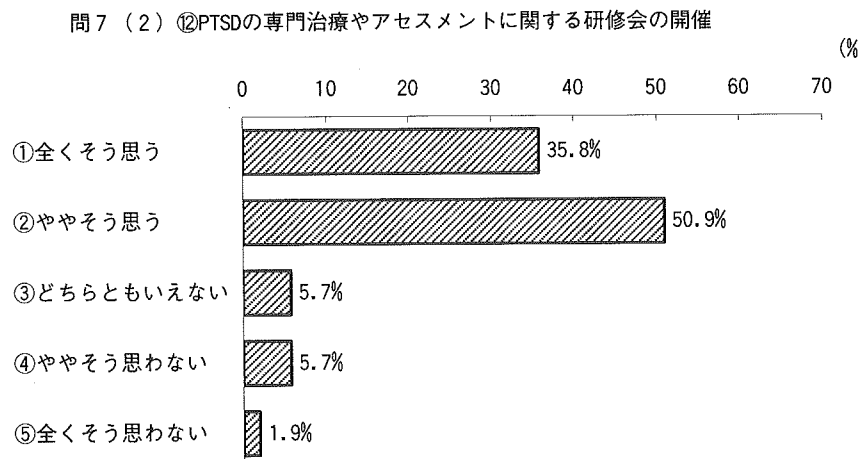


図 33

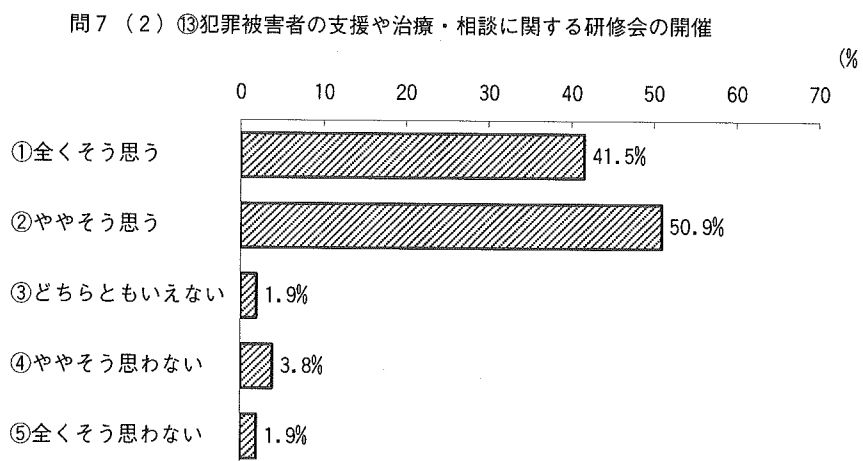
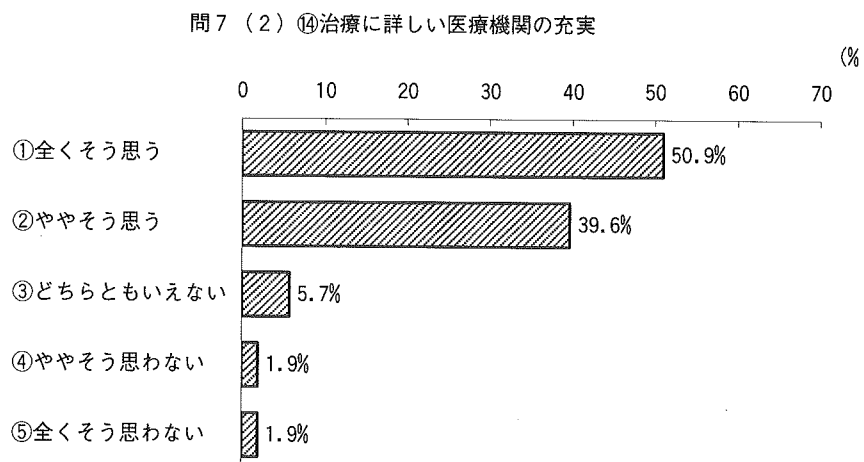


図 34



全精セ京第 21 号
平成 17 年 12 月 14 日

会員各位

全国精神保健福祉センター長会
会長 山下 俊 幸

厚生労働科学研究「犯罪被害者の精神健康の状況と
その回復に関する研究」における調査へのご協力をお願い

寒冷の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、たいへんお世話になっております。自立支援医療施行準備等でたいへんご多忙なところと推察いたします。

さて、本年 4 月 1 日犯罪被害者基本法が施行され、現在内閣府において犯罪被害者等基本計画の策定が進められています。このような中、すでにご承知のとおりセンター長会において、今年度の厚生労働科学研究「犯罪被害者の精神健康の状況とその回復に関する研究」(主任研究者：小西聖子)の分担研究に取り組んでおります。

このたび、精神保健福祉センターにおける取り組みの現状等につきまして別添のとおり調査を行なうこととなりました。たいへんご多忙のところ誠に恐縮ですが、特段のご配慮をいただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

全国精神保健福祉センター長会事務局

〒604-8845

京都市中京区壬生東高田町1-15

京都市こころの健康増進センター(加賀山)

TEL 075-314-0355

FAX 075-314-0504

精神保健福祉センターにおける犯罪被害者及びその家族への支援に
 ついての取り組みの現状と今後の支援のあり方に関する調査

調査票の記入と返送について

調査票の記入、返送につきまして以下のようにお願い申し上げます。

各問について、あてはまる番号に○をつけて下さい。また、設問によっては、() 内や□内に数字や回答のご記入をお願いします。

また、問3でお伺いする事例については、事例シート（別紙1）にご記入いただくようお願い申し上げます。

(1) 調査票の返送について

ご記入いただきました調査票と事例シート（別紙1）を、同封の返信用封筒に入れ、平成18年1月16日までにご投函くださいますようお願い申し上げます。

(2) 資料等の送付

調査内容に関連し、貴センターで作成されました報告書、資料等をお送りいただけます場合には、同封した郵パックのラベルをお使いいただき、着払いにてお送りいただけますようお願い申し上げます。

調査に関するお問い合わせ、ご質問は下記にお問い合わせ申し上げます。

〒186-8502 東京都小平市小川東町 4-1-1

国立精神・神経センター精神保健研究所 中島聡美

TEL 042-436-1983, FAX 042-436-1986

E-mail:nakajima@ncnp-k.go.jp

****可能な限り、FAXまたはE-mailにてお願いいたします。****

お忙しいところ恐縮ですが、よろしくご協力お願い申し上げます。

なお、ここでいう「犯罪被害者及びその家族」とは、犯罪被害にあった被害者本人および、遺族・家族を指し、犯罪の内容には、一般刑法犯罪の他、業務上過失、児童虐待、配偶者間暴力を含みます。

調査票は全部で14ページ（このページ含む）あります。
 それでは、次のページよりご記入お願いいたします。

問1. はじめに、貴センターの状況等についてお伺いします。

(1) 貴機関名

--

(2) こちらから、この調査に関する問い合わせをすることがあります。その際の担当者のお名前と電話番号をお書きください。

お名前	電話番号
-----	------

(3) 管轄地域の人口（平成16年10月時点）[小数点以下四捨五入]

万人

(4) 貴センターの職員の数

(a)	事務職を含む全職員数	常勤	_____人	, 非常勤	_____人
(b)	技術職員数				
	医師	常勤	_____人	, 非常勤	_____人
	保健師	常勤	_____人	, 非常勤	_____人
	精神保健福祉士	常勤	_____人	, 非常勤	_____人
	臨床心理技術者	常勤	_____人	, 非常勤	_____人
	その他相談等にあたる職員	常勤	_____人	, 非常勤	_____人

(5) 下記事業のうち、平成16年度に貴センターで行った事業の番号に○をつけてください（複数回答可）。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話相談 2. 来所相談 3. 診療 4. 思春期相談 5. アルコール相談 6. アルコール依存または薬物依存等の本人または家族のミーティング, グループ 7. ひきこもりの本人または家族のミーティング, グループ 8. デイ・ケア等のリハビリテーション 9. その他（具体的に： _____)
--

(6) 貴センターの所管地域における犯罪被害者及びその家族の相談や治療あるいは、PTSD治療に詳しい医師のいる医療機関はいくつありますか。

機関の数→ _____ 機関

(7) 過去 10 年間に貴センターの所管地域内で大規模災害・犯罪・事故などがありましたか。

1. なかった
2. あった→ 具体的に[例 JR 福知山線脱線事故]

問 2. 平成 16 年度の電話相談業務についてお伺いします。

(1) 貴センターでは、電話による相談を行っていますか。あてはまる番号に○をつけて、該当する設問におすすみください。

1. はい → 問 2 (2) へおすすみください
2. いいえ → 問 3 へおすすみください

(2) 貴センターの平成 16 年度の平均的な 1 週間の電話相談開設時間をお書きください。

1 週間に () 時間

(3) 平成 16 年度の電話相談の全件数は、何件でしたか。

() 件

(4) 平成 16 年度の電話相談内容の内訳をお教えてください。

① 老人精神保健	件
② 社会復帰	件
③ アルコール	件
④ 薬物	件
⑤ 思春期	件
⑥ こころの健康づくり	件
⑦ その他	件

(5) 平成 16 年 10 月の 1 ヶ月間の電話相談の全件数は、何件でしたか。

() 件

(6) 平成 16 年 10 月の 1 ヶ月間の電話相談で、児童虐待に関連する相談が何件あったかお伺いします。以下の内容に当てはまる相談が何件あったかについて相談者の男女別の件数をご記入ください。なお、ここでいう児童虐待は、児童虐待防止法の定義により、18 歳未満の子どもに対し、保護者から身体的、性的、心理的虐待およびネグレクト（養育放棄）がおこなわれたものをさします。

* 相談の内容が複数の被害項目にわたる場合は、最も大きな被害をもたらしていると思われる内容を選んでください。

被害内容 相談件数	被害者本人からの相談件数 (件)		被害者の家族からの相談件数 (件)		その他 (近隣, 教師など)からの相談件数 (件)		合計 (件)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
①殺人・傷害致死							
②身体的虐待							
③性的虐待							
④心理的虐待							
⑤ネグレクト (養育放棄など)							
⑥その他 ()							

(7) 平成 16 年 10 月の 1 ヶ月間の電話相談で、配偶者間暴力に関連する相談が何件あったかお伺いします。以下の内容に当てはまる相談が何件あったかについて相談者の男女別の件数をご記入ください。なお、ここでいう配偶者間暴力は、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の定義により、配偶者(内縁関係含む)から加えられる心身に有害な影響を及ぼす行為をさします。

* 相談の内容が複数の被害項目にわたる場合は、最も大きな被害をもたらしていると思われる内容を選んでください。

被害内容 相談件数	被害者本人からの相談件数 (件)		被害者の家族からの相談件数 (件)		その他 (友人, 教師など)からの相談件数 (件)		合計 (件)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
①殺人・傷害致死							
②身体的虐待							
③性的虐待							
④心理的虐待							
⑤その他 ()							

(8) 平成16年10月の1ヶ月間の電話相談で児童虐待および配偶者間暴力以外の犯罪や事故の被害に関連する相談が何件あったかお伺いします。以下の内容に当てはまる相談が何件あったかについて相談者の男女別の件数をご記入ください。

* 相談の内容が複数の被害項目にわたる場合は、最も大きな被害をもたらしていると思われる内容を選んでください。

被害内容		相談件数		被害者本人からの相談件数(件)		被害者の家族からの相談件数(件)		その他(友人, 教師など)からの相談件数(件)		合計(件)
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
①殺人・傷害致死										
不慮の事故 注2)	②死亡									
	③死亡以外(身体的・精神的な被害)									
④身体的暴力(殺人未遂, 傷害, 強盗傷害等)										
④性的暴力(強姦, 強姦未遂, 強制わいせつ等)										
⑤財産被害(窃盗・詐欺・横領等)										
⑥誘拐・監禁・人質										
⑦ストーキング										
⑧戦争・テロ										
⑨その他の犯罪被害										

注1) 子どもから親への暴力や学校でのいじめについては被害者がけがをおったり, 警察へ通報のあった事例についてお書きください。

注2) ここでいう事故とは, 自動車事故, 鉄道事故, 放射能漏れ事故などの不慮の事故(いわゆる業務上過失)で, あきらかな本人の過失によるものを除きます。

注3) その他の内容については下記に具体的内容をお書きください。

(具体的内容:)

問 3. 平成 16 年度の面接による相談業務についてお伺いします。

- (1) 貴センターでは、面接相談（医師による面接相談，医師以外による面接相談）及び診療を行っていますか。あてはまる番号に○をつけて，該当する設問へおすすみください。（複数回答可）

1. 医師による診療を行っている	}	→	問 3(2)へおすすみ ください
2. 医師による面接相談を行っている			
3. 医師以外による面接相談を行っている			
4. 面接相談はおこなっていない	→	問 4へおすすみください	

- (2) 貴センターの平成 16 年度における平均的な 1 週間の面接相談及び診療業務時間をお書きください。

1 週間に () 時間

- (3) 平成 16 年度の面接相談（診療を含む以下同様）の件数及び事例数をお書きください。

のべ相談件数 () 件，事例数 () 人

- (4) 平成 16 年度の面接相談内容の内訳（のべ相談件数）をお教えてください。

① 老人精神保健	件
② 社会復帰	件
③ アルコール	件
④ 薬物	件
⑤ 思春期	件
⑥ こころの健康づくり	件
⑦ その他	件

(9) 平成 16 年度の面接相談及び診療で児童虐待に関連する事例が何人あったかお伺いします。以下の内容に当てはまる相談が何人あったかについて相談者の男女別の人数をご記入ください。なお、ここでいう児童虐待は、児童虐待防止法の定義により、18 歳未満の子どもに対し、保護者から身体的、性的、心理的虐待およびネグレクト（養育放棄）がおこなわれたものをさします。

* 相談の内容が複数の被害項目にわたる場合は、最も大きな被害をもたらしていると思われる内容を選んでください。

事例数 被害内容	被害者本人 (人)		被害者の家族 (人)		その他 (近隣, 教師など) (人)		合計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
① 殺人							
② 身体的虐待							
③ 性的虐待							
④ 心理的虐待							
⑤ ネグレクト (養育放棄など)							
⑥ その他 ()							

(10) 平成 16 年度の面接相談及び診療で、配偶者間暴力に関連する相談事例が何人あったかお伺いします。以下の内容に当てはまる相談が何人あったかについて相談者の男女別の人数をご記入ください。なお、ここでいう配偶者間暴力は、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の定義により、配偶者(内縁関係含む)から加えられる心身に有害な影響を及ぼす行為をさします。

* 相談の内容が複数の被害項目にわたる場合は、最も大きな被害をもたらしていると思われる内容を選んでください。

事例数 被害内容	被害者本人 (人)		被害者の家族(人)		その他 (友人, 教師など) (人)		合計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
① 死亡							
② 身体的虐待							
③ 性的虐待							
④ 心理的虐待							
⑤ その他 ()							

(11)平成16年度の面接相談及び診療で児童虐待および配偶者間暴力以外の犯罪や事故の被害に関連する相談事例が何人あったかお伺いします。以下の内容に当てはまる相談が何人あったかについて相談者の男女別の件数をご記入ください。

*相談の内容が複数の被害項目にわたる場合は、最も大きな被害をもたらしていると思われる内容を選んでください。

事例数 被害内容		被害者本人 (人)		被害者の 家族(人)		その他(友 人, 教師な ど)(人)		合計 (人)
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	
①殺人・傷害致死								
不慮の事故 注2)	②死亡							
	③死亡以外(身体的・精神的な被害)							
④身体的暴力(殺人未遂, 傷害, 強盗傷害等)								
④性的暴力(強姦, 強姦未遂, 強制わいせつ等)								
⑤財産被害(窃盗・詐欺・横領等)								
⑥誘拐・監禁・人質								
⑦ストーキング								
⑧戦争・テロ								
⑨その他の犯罪被害								

注1) 子どもから親への暴力や学校でのいじめについては被害者がけがをおったり、警察へ通報のあった事例についてお書きください。

注2) ここでいう事故とは、自動車事故、鉄道事故、放射能漏れ事故などの不慮の事故(いわゆる業務上過失)で、あきらかな本人の過失によるものを除きます。

注3) その他の内容については下記に具体的内容をお書きください。

(具体的内容:)

(12) 上記(8), (9), (10)で被害者本人と遺族(表 部分)の相談の経験があると回答したセンターは、個々の事例について事例シート(別紙1)にご記入ください。大変お手数をおかけします。遺族や犯罪被害者事例の相談経験がないセンターは、設問4へおすすみください。

問4. 被害者及びその家族の相談や治療上をするうえでどのようなことを感じられているかについてお伺いします。相談を経験していないセンターでは、もし相談をすることになったらという仮定で記載してください。

(1) 被害者の相談や治療を行う上でどのようなことを感じられているかについて、次の各項目のあてはまるところに○をつけてください。

	全く そう である	ば ど ち ら か と い え	な ど ち ら と も い え	ど ち ら か と い う	い 全 く そ う で は な
① 相談や治療の技術や知識が不足している	1	2	3	4	5
② 相談や治療を行う時間が十分でない	1	2	3	4	5
③被害者やその家族の相談・治療は診療報酬にみあわない	1	2	3	4	5
④ 相談や治療の中で被害者やその家族を傷つけてしまうのではと不安を感じる	1	2	3	4	5
⑤ 相談や治療を行う中で無力感を感じる	1	2	3	4	5
⑥ 司法関係（警察や裁判に関連する事項）の知識が不足している	1	2	3	4	5
⑦ 被害者に係わる他の機関（児童相談所，民間被害者援助団体等）についての知識が不足している	1	2	3	4	5
⑧ 治療を行う他の精神科医療機関が不足している	1	2	3	4	5
⑨相談や治療に意義ややりがいを感じている	1	2	3	4	5
⑩治療や相談に関心を持っている	1	2	3	4	5
⑪被害者やその家族の相談や治療は精神保健福祉センターの重要な業務の1つである	1	2	3	4	5

(2) その他，被害者及びその家族の相談や治療をする上でお感じになられていることがございましたら，以下にお書きください。

()

問 5. 貴センターの被害者支援への取り組みについておうかがいします。
 (1)～(7)については、過去3年間（平成14～16年度）についてお答えください。

- (1) 被害者支援に関連した会議等の開催，参加がありますか。ある場合はその内容をご記入ください。

年度	有無	内容（主催機関，会議の名称，主な参加団体，年間の開催数）
①平成14年度	1 あり 2 なし	
②平成15年度	1 あり 2 なし	
③平成16年度	1 あり 2 なし	

- (2) 被害者及びその家族に対する自治体での条例制定，支援計画策定等に参画しましたか，ある場合はその内容をご記入ください。

年度	有無	内 容
①平成14年度	1 あり 2 なし	
②平成15年度	1 あり 2 なし	
③平成16年度	1 あり 2 なし	

- (3) 被害者及びその家族への対応に関連して，保健所，市町村等への専門的支援（講師派遣，事例検討，情報提供など）を行っていますか。行っている場合はその内容をご記入ください。

年度	有無	内 容
①平成14年度	1 あり 2 なし	
②平成15年度	1 あり 2 なし	
③平成16年度	1 あり 2 なし	

- (4) 被害者及びその家族の対応に関連して関係機関職員等への研修会の開催（講義，グループワーク，事例検討など）を行っていますか。行っている場合はその内容をご記入ください。

年度	有無	内 容
①平成14年度	1 あり 2 なし	
②平成15年度	1 あり 2 なし	
③平成16年度	1 あり 2 なし	

- (5) 被害者及びその家族に関連して、市民への啓発(講演会、機関紙、リーフレット作成、ホームページ作成など)を行っていますか。行っている場合はその内容をご記入ください。

年度	有無	内 容
①平成14年度	1 あり 2 なし	
②平成15年度	1 あり 2 なし	
③平成16年度	1 あり 2 なし	

- (6) 被害者及びその家族の対応に関して調査報告書、マニュアル作成等を行っていますか。行っている場合はその内容をご記入ください。

年度	有無	内 容
①平成14年度	1 あり 2 なし	
②平成15年度	1 あり 2 なし	
③平成16年度	1 あり 2 なし	

*たいへんお手数ですが、報告書、マニュアル等があれば御恵与ください。

- (7) 被害者及びその家族の自助グループ、ミーティング等の支援を行っていますか。行っている場合、その内容をご記入ください。

年度	有無	対象者	開催頻度	センターのかかわり方
①平成14年度	1 あり 2 なし			
②平成15年度	1 あり 2 なし			
③平成16年度	1 あり 2 なし			

- (8) これまで自治体としてまたはセンターとして取り組んだ犯罪被害者及びその家族への支援活動がありましたらご記入ください。

対象となる被害者・被害内容	支援期間	支援内容

*たいへんお手数ですが、報告書等があれば御恵与ください。